

水道事業会計

平成26年度上半期 大竹市水道事業損益計算書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

	円	円	円
1. 営業収益			
(1) 給水収益	213,852,726		
(2) 受託工事収益	0		
(3) その他営業収益	8,635,000	222,487,726	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	68,154,961		
(2) 給配水費	22,035,020		
(3) 受託工事費	0		
(4) 業務費	16,405,960		
(5) 総係費	13,860,295		
(6) 減価償却費	0		
(7) 資産減耗費	0		
(8) その他営業費用	0	120,456,236	
営業利益			102,031,490
3. 営業外収益			
(1) 受取利息	2,813,266		
(2) 一般会計補助金	0		
(3) 負担金	3,977,000		
(4) 長期前受金戻入	0		
(5) 資本費繰入収益	0		
(6) 雑収益	1,865,769		
(7) 消費税及び地方消費税還付金	0	8,656,035	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息	10,175,131		
(2) 繰延勘定償却	0		
(3) 雑支出	0		
(4) 消費税及び地方消費税	0	10,175,131	△ 1,519,096
経常利益			100,512,394
5. 特別利益			
(1) 固定資産売却益	0		
(2) 過年度損益修正益	0		
(3) その他特別利益	0	0	
6. 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	94,134		
(3) その他特別損失	97,226,534		
(4) 予備費	0	97,320,668	△ 97,320,668
当期純利益			3,191,726
前期繰越利益剰余金			23,268,630
その他の未処分利益剰余金変動額			570,611,505
当期末処分利益剰余金			597,071,861

平成26年度上半期 大竹市水道事業会計貸借対照表

(平成26年9月30日)

資 産 の 部

1 固 定 資 産	円	円	円	円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		203,423,489		
ロ 建物	333,648,578			
減価償却累計額	△ 92,790,702	240,857,876		
ハ 構築物	5,398,847,785			
減価償却累計額	△ 2,664,155,450	2,734,692,335		
ニ 機械及び装置	1,094,868,192			
減価償却累計額	△ 805,235,779	289,632,413		
ホ 車両運搬具	1,570,669			
減価償却累計額	△ 1,482,621	88,048		
ヘ 工具、器具及び備品	7,377,140			
減価償却累計額	△ 6,224,398	1,152,742		
ト リース資産	3,329,264			
減価償却累計額	0	3,329,264		
チ 建設仮勘定		66,721,723		
有形固定資産合計			3,539,897,890	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権		46,660		
無形固定資産合計			46,660	
(3) 投資その他の資産				
イ 長期貸付金		667,710,000		
投資その他の資産合計			667,710,000	
固定資産合計				4,207,654,550
2 流 動 資 産				
(1) 現金預金			1,190,768,176	
(2) 未収金		20,625,302		
貸倒引当金		0	20,625,302	
(3) 貯蔵品			3,390,796	
(4) 前払金			2,110,200	
(5) その他流動資産			8,253,682	
流動資産合計				1,225,148,156
3 繰 延 資 産				
(1) 開発費			6,483,280	
繰延資産合計				6,483,280
資産合計				5,439,285,986

負債の部

	円	円	円	円
4 固定負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	712,229,462			
企業債合計			<u>712,229,462</u>	
(2) リース債務				2,627,640
(3) 引当金				
イ 修繕引当金	6,790,000			
ロ 退職給付引当金	<u>92,123,000</u>			
引当金合計			<u>98,913,000</u>	
固定負債合計				813,770,102
5 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	19,849,059			
企業債合計			<u>19,849,059</u>	
(2) リース債務				510,930
(3) 引当金				
イ 賞与引当金	0			
ロ 法定福利費引当金	<u>0</u>			
引当金合計			<u>0</u>	
(4) その他流動負債				105,097,479
流動負債合計				125,457,468
6 繰延収益				
長期前受金		1,471,652,698		
収益化累計額		<u>△ 672,731,821</u>		
繰延収益合計			<u>798,920,877</u>	
負債合計				<u>1,738,148,447</u>

資 本 の 部

7 資 本 金	円	円	円	円
(1) 自 己 資 本 金				
イ 固 有 資 本 金			34,905,000	
ロ 組 入 資 本 金			<u>1,038,455,211</u>	
資 本 金 合 計				1,073,360,211
8 剰 余 金				
(1) 資 本 剰 余 金				
イ 受 贈 財 産 評 価 額	157,385,760			
ロ 工 事 負 担 金	1,417,874,146			
ハ 他 会 計 負 担 金	12,113,092			
ニ 補 助 金	<u>71,332,469</u>			
資 本 剰 余 金 合 計			1,658,705,467	
(2) 利 益 剰 余 金				
イ 減 債 積 立 金	71,000,000			
ロ 建 設 改 良 積 立 金	301,000,000			
ハ 当 期 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>597,071,861</u>			
利 益 剰 余 金 合 計			<u>969,071,861</u>	
剰 余 金 合 計				<u>2,627,777,328</u>
資 本 合 計				<u>3,701,137,539</u>
負 債 資 本 合 計				<u>5,439,285,986</u>

平成26年度上半期 注記表

I 重要な会計方針

当期より、見直し後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

1 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く。)

・ 減価償却の方法

定額法

・ 主な耐用年数

建物 38 ～ 65 年

構築物 10 ～ 60 年

機械及び装置 5 ～ 40 年

車両運搬具 2 ～ 5 年

工具、器具及び備品 3 ～ 20 年

(2) 無形固定資産

・ 減価償却の方法(リース資産を除く。)

定額法

・ 耐用年数

施設利用権 20 年

(3) リース資産

・ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

地方公営企業法施行規則第55条第2号に基づき、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

・ 職員の退職手当の支給に備えるため、当期末における職員に対する退職手当の要支給額(95,549,000円)から、広島県市町総合事務組合における積立金相当額(3,426,000円)を控除した金額を計上している。

(2) 修繕引当金

・ 平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととしている。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II 貸借対照表等関連

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当期末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は75,693,904円である。

Ⅲ リース契約により使用する固定資産

賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に関する事項

未経過リース料相当額

1年内	4,685,760 円
1年超	<u>11,720,080 円</u>
計	<u><u>16,405,840 円</u></u>

Ⅳ その他の注記

みなし償却制度の廃止に伴う移行処理について

平成26年3月31日において、償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額のうち、該当資産との対応関係の把握が不可能であったものについては、現存する資産(補助金等が充当されていないことが明らかな資産を除く)を対象とした按分等の方法を用いて合理的に整理している。

平成26年度上半期 大竹市水道事業報告書

1. 概 況

(1) 総括事項

水道事業

本市の水道事業は、給水人口の減少や景気の低迷の影響及び節水意識の定着により、使用水量が平成6年をピークに年々減少しており、今後も低下傾向にあります。

このような状況下、安全で良質な水の安定供給を図りながら、歳出面においては経費の節減等による経営の合理化に努める一方、歳入面においても積極的な収納確保に努めていきます。

また、今後の課題として老朽化した施設の改築更新が必要となるため、計画的な施設改良に取り組んでまいります。

① 営 業

平成26年度上半期の有収水量は、1,646,643^m³（1日平均9,097^m³）で、平成25年度下半期と比較して、51,842^m³（3.1%）の減少となりました。

② 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

平成26年度上半期に実施した主な工事（業務）は、以下のとおりです。

- ・油見1丁目地内配水管改良工事（その3）（平成25年度繰越分）

総工事費 4,352,400円

③ 経理の状況

平成26年度上半期における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	231,143,761円
(消費税及び地方消費税抜き)	支出総額	227,952,035円
	差引利益額	3,191,726円

資本的収支	収入総額	0円
(消費税及び地方消費税込み)	支出総額	42,538,348円
	差引不足額	42,538,348円

(2) 議会の議決事項

① 予算決算に関する事項

議決年月日	議案番号	件名
H26. 5. 26	報告第6号	予算繰越しの報告について
H26. 9. 18	議案第54号	平成25年度大竹市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
H26. 9. 18	議案第57号	平成26年度大竹市水道事業会計補正予算（第1号）

② 条例に関する事項

該当事項なし

(3) 職員に関する事項

① 職員の平均給料

平均給料月額	平均年齢	平均勤続年数	人員	備考
352,843円	46歳1ヶ月	23年6ヶ月	12名	

② 市長の同意を必要とする主要職員の任免

該当事項なし

③ 給与改定

該当事項なし

(4) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

消費税等の税率が平成26年4月1日から8%に引き上げられたことに伴い、水道料金等に消費税等の引き上げ分を転嫁しました。

2. 工事の概況

(1) 建設工事及び改良工事の概況

工 事 名	工 事 内 容	総工事費	着工期日 竣工期日	備 考
(原水浄水設備改良事業) 該当事項なし		円	年月日	
小 計		0		
(配水設備拡張事業) 該当事項なし		円	年月日	
小 計		0		
(配水設備改良事業) 該当事項なし		円	年月日	
小 計		0		
(配水設備改良事業〔繰越分〕) 油見1丁目地内配水管改良工事(その3)	H P P E管φ50 L=73.5m 給水管復旧工 1式 既設配水管撤去 L=58.4m 既設給水管撤去 L=35.9m	4,352,400	H26.2.21 H26.8.1	総工事費は 平成26年度分
小 計		4,352,400		
合 計		4,352,400		

(2) 保存工事の概況

区 分	工 事 内 容	工 事 費			備 考
		工事請負費等	材料費	計	
原 水 及 び 浄 水 設 備	三ツ石調整池次亜塩注入点修繕 外4件	円 858,276	円 0	円 858,276	
給 配 水 設 備	玖波配水池県水受入電動弁分解整備修繕 外19件	5,081,940	0	5,081,940	
量 水 器 設 備	該当事項なし	0	0	0	
合 計		5,940,216	0	5,940,216	

3. 業 務

(1) 業務量

① 給水戸数及び給水人口

年度別		平成26年9月30日現在		平成26年3月31日現在		比 較			
種 別	区 分	給水 戸数	給水 人口	給水 戸数	給水 人口	給 水 戸 数		給 水 人 口	
						増 減	比 率	増 減	比 率
		戸	人	戸	人	戸	%	人	%
上 水 道		12,438	27,642	12,404	27,643	34	100.3	△ 1	100.0

② 配水量及び有収水量

種 別		期 別	平成26年度上半期	平成25年度下半期	比 較	
					増 減	比 率
配 水 量	水 源 地		m ³ 1,666,470	m ³ 1,767,650	m ³ △ 101,180	% 94.3
	県 用 水		383,805	409,775	△ 25,970	93.7
	合 計		2,050,275	2,177,425	△ 127,150	94.2
1日平均配水量			11,327	11,834	△ 507	95.7
1日最大配水量		H26. 2. 12	12,690	H25. 12. 3 14,207	△ 1,517	89.3
有収水量			1,646,643	1,698,485	△ 51,842	96.9
1日平均有収水量			9,097	9,231	△ 134	98.6
有 収 率			80.3%	78.0%	2.3	103.0

※上水道は、2ヶ月後に料金が賦課されるので、配水量は2月から7月までが上半期となる。

4. 会 計

(1) 重要契約の要旨

① 工事請負契約

該当事項なし

② 業務委託契約

契約年月日	契 約 額	契 約 内 容	契約の相手方
	円		
H22. 3. 19	243,075,000		
H22. 4. 28	11,761,050		
H23. 4. 1	1,843,800	防鹿水源地運転管理業務（工水事業との共同契約額） 契約期間：H22. 4. 1～H27. 3. 31	(株)ジェイ・チーム
H24. 6. 15	94,500		
H26. 4. 1	1,470,276		
	(258,244,626)		
	32,928,336		

五段書きは上段が当初契約，二段以降が変更契約，（）内は合計額

③その他の契約

契約年月日	契 約 額	契 約 内 容	契約の相手方
	円		
H25. 1. 18	41,376,300	大竹市上下水道料金システム及び大竹市公営企業会計システム等一式に係る賃貸借契約 （工水・下水事業との共同契約額） 契約期間：H25. 1. 18～H30. 3. 31	(株)日立システムズ 中国支社
H26. 4. 1	460,800		
	(41,837,100)		日立キャピタル(株)
	5,430,360	上記のうち平成26年度上水対象額	

二段書きは上段が当初契約，下段が変更契約，（）内は合計額

(2) 企業債及び一時借入金の概況

① 企業債の概況

区 分	借 入 先	前年度末残高	当年度借入高	当年度償還高	当年度末残高
水道事業	財 務 省	円 279,408,661	円 0	円 11,938,997	円 267,469,664
	地方公共団体 金融機構	472,169,245		7,560,388	464,608,857
	合 計	751,577,906	0	19,499,385	732,078,521

② 一時借入金の概況

該当事項なし

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

(4) 受贈財産の取得状況

受贈年月日	種類		譲渡者名	受贈財産評価額
H26.7.22	配水管	油見一丁目14番地内 HPPE管 φ50 L=51.45m HIVP管 φ25 L=1.5m ソフトシール弁 φ50 1個 プレイングート弁 φ25 1個 バルブBOX (φ50・φ25共)	積水ハウス(株) 徳山支店	2,930,000
合 計				2,930,000